

2023年度

入学者選抜に関する要項

本要項は概要版であり、変更が生じる場合があります。
各試験の募集要項を必ず確認してください。

公立大学法人

前橋工科大学



Maebashi Institute of Technology

〒371-0816

群馬県前橋市上佐鳥町460番地 1

前橋工科大学 学務課入試係

TEL 027-265-0111 (代表)

027-265-7361 (学務課直通)

FAX 027-265-3837

E-Mail nyushi@maebashi-it.ac.jp

目 次

□ 入学者選抜における変更点について	1
□ 前橋工科大学工学部の教育ポリシー 工学部の入学者受け入れの方針、教育課程編成・実施の方針、卒業認定・学位授与の方針	2
□ 前橋工科大学工学部 各学群の教育ポリシー 各学群の入学者受け入れの方針、教育課程編成・実施の方針、卒業認定・学位授与の方針	3
1 入学者選抜日程の概要	6
(1) 一般選抜【前期日程、公立大学中期日程】	
(2) 特別選抜【総合型選抜、学校推薦型選抜、帰国生徒、私費外国人留学生】	
2 区分別募集人員	6
3 入学者選抜方法等	7
(1) 一般選抜	
(2) 特別選抜	
4 一般選抜	9
(1) 出願資格	
(2) 出願方法	
(3) 選抜方法	
(4) 一般選抜の実施教科・科目・配点等	
5 特別選抜	11
(1) 各種試験の概要	
① 総合型選抜	
② 学校推薦型選抜	
③ 帰国生徒	
④ 私費外国人留学生	
(2) 出願方法	
6 障害等のある入学志願者の出願について	17
7 試験会場について	17
8 学生募集要項等の公表時期について	17
9 前橋工科大学の情報をより詳しく調べたい方へ	18

今回公表する内容は現時点のものであり、今後、大学入学共通テストの実施方法の変更やその他の事由により、変更する場合がありますので、本学からの発表にご注意願います。

2023 年度 入学者選抜における昨年度からの変更点について

①入試日程の変更

特別選抜【総合型選抜】について、試験日程を2日間から1日に変更する。

②募集区分の変更

学科再編に伴い、総合デザイン工学科の編入学について、3年次のみ募集とし、2年次の募集は行わない。

③特例措置の廃止

○一般選抜【前期日程】

個別学力試験の科目について、2022 年度入学者選抜特例措置を廃止する。

廃止する特例措置

【2022年度入学者選抜特例措置】
「数Ⅰ、数Ⅱ、数A、数B」の範囲で解答できる問題を選択可能とします。

○特別選抜【総合型選抜、学校推薦型選抜】

出願資格として求める高等学校等での修得または修得見込みである科目について、2022 年度入学者選抜特例措置を廃止する。

廃止する特例措置

【2022年度入学者選抜特例措置（出願資格(5)）】
下記科目及び科目群に限り、修得していない場合においても、当該要件を満たすものとして扱う。

[建築・都市・環境工学群（工学デザインプログラム）]
「数学Ⅲ」「化学基礎・化学」

[情報・生命工学群（生物応用プログラム）]
「数学Ⅲ」

前橋工科大学工学部の教育ポリシー

○ 前橋工科大学の3つのポリシー（アドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシー）

本学は、建築・都市・環境工学群、情報・生命工学群の2学群から構成される、工学部単科大学である。大学として、入学者受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）、教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）の3ポリシーを定めている。多様な特色をもつ2学群では、それにしたがって、学群の理念を実現するため、さらに学群ごとに3つのポリシーが定められている。

● 入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）

前橋工科大学の理念、教育の目標を理解し、以下の能力、意欲を持つ人の入学を希望します。

- ・教育課程編成・実施の方針をもとに学び、成長するために必要な、高校課程の基礎的な学力を備えている人
- ・工学に関心を持ち、みずから考え、判断する力を育くみ、何事にも積極的に挑戦しようと考えている人
- ・発想力、洞察力、コミュニケーション力をみがくため、持続力をもって学ぼうとする人
- ・対話によって気づきを共有することが、学びを深めるために大切だと認識する人

● 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

- ・卒業認定・学位授与の方針を達成するために必要な、教養基礎科目、専門教育科目を学修させる
- ・工学教育を特徴づける実験・実習・演習をとおして、課題の解決に必要な知識と方法を修得させ、その結果を論理的に発表する力を身に付けさせる
- ・本学での学修に加え、インターンシップなどの学外活動をとおした実社会との交流も促進し、表現力、協調性、倫理性を涵養する

● 卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

- ・本学がめざす自然と人との共生、持続可能な循環型社会の構築に寄与するための幅広い基礎的な学力、工学の知識と技能を修得し、判断力と実行力を有している
- ・自ら課題を見いだすことができ、解決に主体的に取り組み、その成果を発表する能力を備えている
- ・他者との協働に参画し得る社会性を有し、専門技術者として果たすべき使命と役割を理解し、倫理観や責任感を身に付けている

【建築・都市・環境工学群】

「入学者受入方針」 (アドミッション・ポリシー)

・求める学生像

身のまわりのアイテム、建築物、橋のような公共構造物と、それらとふれあう場としての生活空間・情報空間について、工学的にデザインする技術者の育成を目指します。目ざすものやその環境が学びの対象です。持続的社会的な構築を目指してどのように‘もの’や‘空間’と向き合い、環境を整えるべきか、工学を手掛かりに考えたい人の入学を希望します。

・評価の観点

広い視野と洞察力、独創的な発想力と問題解決能力、コミュニケーション力などの基盤となる数学・理科・国語・英語、特に数学・理科の基礎的学力を評価します。また学びを深めようとする意欲を確認します。高等学校等での習得すべき科目は、数学では数学 I・II・III・A・B（あるいは同等の科目）、理科では、物理（物理基礎を含む）・化学（化学基礎を含む）、国語および英語で、入学時までこれらの科目の内容を理解していることが望まれます。

「教育課程編成・実施の方針」 (カリキュラム・ポリシー)

学群のディプロマ・ポリシーを達成するために、教養基礎科目、専門教育科目（工学基礎科目、学群共通科目、プログラム専門科目）に分けて、次のとおり年次進行で学修する。

初年次は、幅広い学友とともに教養基礎科目を学び、豊かな人間性を身に付け、文理融合型学修を実践すると同時に、工学基礎科目及び学群共通科目の履修により、工学技術者としての最低限必要な基礎学力を身に付ける。

2年次においては、学群共通科目の履修をとおして学群の関係する広範な学術分野を横断的に理解できる能力を開発するとともに、それぞれの教育プログラムの基礎的な科目を学び、学生ひとりひとりが基礎知識と自己表現力・提案力を身に付け、自らの志向、能力、個性を見いだしていく。

3年次においては、それぞれの教育プログラムの専門科目を中心に学び、専門的知識を獲得し、それを応用する力を養う。

4年次においては、専任教員の研究室に所属し、専門技術者に必要な知識、知恵を修得しつつ、卒業研究に取り組むことで、論文のまとめ方、プレゼンテーションの方法、討議の仕方を学び、大学教育の総仕上げを行う。

「卒業認定・学位授与の方針」 (ディプロマ・ポリシー)

所定の年限在学し、所定の授業科目を履修して、卒業に必要な130単位以上を修得し、次の能力を有すると認められた者に学士（工学）の学位を授与する。

自ら問題を発見し、論理的に分析し、解決する能力を身に付け、そしてその結果を、市民を含めた第三者に対して、分かりやすく伝達することができる。

学んだ技術や知識をもとに、状況に応じて柔軟に対応できる応用力を身に付けている。

人間の生活の豊かさ、人間の健康、地球の環境のために、必要な情報や基礎知識を抽出して活用しつつ、問題を創造的に解決することができる。

自然と人との共生や持続可能な循環型社会の構築に貢献するために、様々な専門職業人と協働するコミュニケーション能力を身に付けている。

人類の持続可能な発展を顧慮しつつ、人間として備えるべき倫理観を持ち、自らの仕事が及ぼす社会的責任を理解している。

【情報・生命工学群】

「入学者受入方針」（アドミッション・ポリシー）

・求める学生像

情報科学・生命科学・ロボット技術と、微生物から人間まで様々な生きもののもつ優れた機能の利用によって、よりよい社会をつくる技術者の育成を目指します。データサイエンスおよびライフサイエンスがおもな学びの対象です。最先端の技術を持続的社会的形成に役立て、人々の暮らしを豊かにする方法を考えたい人の入学を希望します。

・評価の観点

広い視野を持って、自然科学・工学の知識を収集・理解し、問題を発見、分析、解決するための基盤となる数学・理科・国語・英語、特に数学・理科の基礎的学力を評価します。また学びを深めようとする意欲を確認します。高等学校等での習得すべき科目は、数学では数学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・A・B（あるいは同等の科目）、理科では物理（物理基礎を含む）・化学（化学基礎を含む）、生物（生物基礎を含む）（あるいは同等の科目）、国語および英語で、入学時までこれらの科目の内容を理解していることが望まれます。

「教育課程編成・実施の方針」（カリキュラム・ポリシー）

学群のディプロマ・ポリシーを達成するために、教養基礎科目、専門教育科目（工学基礎科目、学群共通科目、プログラム専門科目）に分けて、次のとおり年次進行で学修する。

初年次は、幅広い学友とともに教養基礎科目を学び、豊かな人間性を身に付け、文理融合型学修を実践すると同時に、工学基礎科目及び学群共通科目の履修により、工学技術者としての最低限必要な基礎学力を身に付ける。

2年次においては、学群共通科目及びそれぞれの教育プログラムの基礎的な科目を履修し、学生ひとりひとりが技術者としての基本的な素養とともに情報工学及び生命工学に関する基礎知識を身に付け、自らの志向、能力、個性を見いだしていく。

3年次においては、それぞれの教育プログラムの専門科目を中心に学び、専門的知識を獲得し、それを応用する力を養う。

4年次においては、専任教員の研究室に所属し、専門技術者に必要な知識、知恵を修得しつつ、卒業研究に取り組むことで、論文のまとめ方、プレゼンテーションの方法、討議の仕方を学び、大学教育の総仕上げを行う。

「卒業認定・学位授与の方針」（ディプロマ・ポリシー）

所定の年限在学し、所定の授業科目を履修して、卒業に必要な130単位以上を修得し、次の能力を有すると認められた者に学士（工学）の学位を授与する。

自ら問題を発見し、論理的に分析し、解決する能力を身に付け、そしてその結果を、市民を含めた第三者に対して、分かりやすく伝達することができる。

学んだ技術や知識をもとに、状況に応じて柔軟に対応できる応用力を身に付けている。

人間の生活の豊かさ、人間の健康、地球の環境のために、必要な情報や基礎知識を抽出して活用しつつ、問題を創造的に解決することができる。

自然と人との共生や持続可能な循環型社会の構築に貢献するために、様々な専門職業人と協働するコミュニケーション能力を身に付けている。

人類の持続可能な発展を顧慮しつつ、人間として備えるべき倫理観を持ち、自らの仕事が及ぼす社会的責任を理解している。

1 入学者選抜日程の概要

区分		出願期間	試験日	合格発表	入学手続（最終日）
総合型選抜		2022年9月15日（木） ～9月21日（水）	2022年10月9日（日）	2022年11月1日（火）	2022年11月11日（金）
学校推薦型選抜		2022年11月1日（火） ～11月7日（月）	2022年11月20日（日）	2022年12月2日（金）	2022年12月16日（金）
一般選抜	前期日程	2023年1月23日（月） ～2月3日（金）	2023年2月25日（土）	2023年3月5日（日）	2023年3月15日（水）
	公立大学 中期日程		2023年3月9日（木）	2023年3月20日（月）	2023年3月27日（月）
帰国生徒		2023年1月23日（月） ～1月27日（金）	2023年2月25日（土）	2023年3月5日（日）	2023年3月10日（金）
私費外国人 留学生					

2 区分別募集人員

工学部		入学定員	募 集 人 員					
			一 般 選 抜		特 別 選 抜			
			前 期 日 程	公立大学 中期日程	総合型 選 抜	学校推薦型 選 抜	帰国生徒	私費外国人 留学生
建築・都市・環境 工学群	土木・環境 プログラム	132人	90人	12人	3人	7人	若干名	若干名
	建築都市 プログラム				3人	7人		
	工学デザイン プログラム				3人	7人		
情報・生命 工学群	情報システム プログラム	132人	90人	12人	3人	7人	若干名	若干名
	医工学 プログラム				3人	7人		
	生物応用 プログラム				3人	7人		
計		264人	180人	24人	18人	42人	—	—

※学群は学科に相当します。

※一般選抜（前期日程・公立大学中期日程）での入学者が所属するプログラムは2年次進学時に決定します。

3 入学者選抜方法等

(1) 一般選抜

選抜方法 試験区分・学部・学群			個別学力検査等								個別学力検査等の日程	備考（欠員の補充の方法等）
			個別学力検査を課する	実技検査等				2段階選抜				
				実技検査を課する	面接を行う	小論文を課する	外国語におけるリスニングテストを課する	主として、調査書の内容と大学入学共通テストの成績により第一段階選抜を行い、その合格者についてさらに必要な検査等を行う				
								第一段階の選抜による合格者数	定員に対する倍率	その他		
前期日程	工学部	建築・都市・環境工学群	○	×	×	×	×	×	×	×	2023年2月25日	追加合格
		情報・生命科学群	○	×	×	×	×	×	×	×		
公立大学中期日程	工学部	建築・都市・環境工学群	×	×	×	○	×	○	約25倍	-	2023年3月9日	追加合格
		情報・生命科学群	×	×	×	○	×					

(2) 特別選抜

選抜方法・試験種別等			学校推薦型選抜							総合型選抜						
			面接・調査書・右記の検査等によって判定する。	入学定員の一部について、出身学校長の推薦に基づき、	大学入学共通テストを課する	基礎学力検査を課する	実技検査等				大学入学共通テストを課する	基礎学力検査を課する	実技検査等			
							実技検査を課する	面接を行う	小論文を課する	外国語におけるリスニングテストを課する			実技検査を課する	面接を行う	小論文を課する	外国語におけるリスニングテストを課する
学群名及びプログラム名																
工学部	建築・都市・環境工学群	土木・環境プログラム	○	○	○	×	○	×	×	○	○	×	○	×	×	
		建築都市プログラム	○	○	○	×	○	×	×	○	○	×	○	×	×	
		工学デザインプログラム	○	○	○	×	○	×	×	○	○	×	○	×	×	
	情報・生命工学群	情報システムプログラム	○	○	○	×	○	×	×	○	○	×	○	×	×	
		医工学プログラム	○	○	○	×	○	×	×	○	○	×	○	×	×	
		生物応用プログラム	○	○	○	×	○	×	×	○	○	×	○	×	×	

※ 選抜方法等の詳細は、各種試験の概要をご覧ください。

4 一般選抜

(1) 出願資格

令和5年度大学入学共通テストのうち、本学が指定する教科・科目を受験した者で、以下の各号のいずれかに該当する者。

- ① 高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ）を卒業した者及び2023年3月31日までに卒業見込みの者
- ② 特別支援学校の高等部又は高等専門学校の3年次を修了した者及び2023年3月31日までに修了見込みの者
- ③ 学校教育法施行規則第150条第1号から第4号及び第6号の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者、及び2023年3月31日までにこれに該当する見込みの者
- ④ 高等学校卒業程度認定試験（旧大検）に合格した者及び2023年3月31日までに合格見込みの者で、2023年3月31日までに18歳に達する者
- ⑤ 学校教育法施行規則第150条第7号の規定により、本学において個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で2023年3月31日までに18歳に達する者

【注】出願資格⑤により出願される場合は、本学において入学資格審査による認定が必要です。学務課入試係へ事前連絡をした上で、下記期限内に申請して下さい。

申請期限：2022年8月1日(月)～8月26日(金)（土日祝日は除く）
9時00分～12時30分、13時30分～17時00分

(2) 出願方法

インターネット出願（出願期間：2023年1月23日(月)～2月3日(金)〔消印有効〕）

(3) 選抜方法

入学者の選抜は、「大学入学共通テスト」、「個別学力検査等の成績」及び「志望理由・高校時代の活動のふりかえりに関する説明（前期日程のみ）」及び「調査書」の内容を総合して行う。

(4) 一般選抜の実施教科・科目、配点等

10ページに掲載。

〔大学入学共通テストの利用教科・科目についての注意事項〕

- ① 指定された教科・科目を受験していない場合は、「失格」とします。
- ② 国語は、「近代以降の文章」のみ利用します。
- ③ 理科の科目は、建築・都市・環境工学群（土木・環境プログラム、建築都市プログラム、工学デザインプログラム）では「物理」「化学」の2科目とし、情報・生命工学群（情報システムプログラム、医工学プログラム、生物応用プログラム）では「物理」「化学」「生物」から2科目選択とします。
- ④ 外国語は、「英語(リーディング・リスニング)」を利用します。

一般選抜の実施教科・科目等

学部・学群名 及び募集人員		学力検査 等の区分 ・日程	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等			大学入学共通テスト等の配点					個別学力検査等の配点		配点 合計	
			教科	科目名等	教科等	科目名等	2段階 選 抜	試験	国語	数学	理科	外国語 (英語)	小論文	主体性評価 (注)		
工学部 204人 前期日程 180人 中期日程 24人	建築・都市・環境 工学群 前期日程 90人 中期日程 12人 計 102人	前期日程 2023年 2月25日	国語	国語	数 学	数Ⅰ、数Ⅱ、数Ⅲ、数A、数B	—	共通テスト	100	200	200	200			700	
			数 学	数Ⅰ・数A、数Ⅱ・数B				個別学力 検査等			300			20	320	
			理 科	物理、化学				計	100	500	200	200		20	1020	
		外国語		英語 (リーディング・リスニング)	〔4教科6科目〕											
		公立大学 中期日程 2023年 3月9日	国語	国語	その他	小論文	○	共通テスト	100	300	300	200			900	
			数 学	数Ⅰ・数A、数Ⅱ・数B				個別学力 検査等					100	100		
	理 科		物理、化学	計				100	300	300	200	100	1000			
	外国語		英語 (リーディング・リスニング)	〔4教科6科目〕												
	情報・生命 工学群 前期日程 90人 中期日程 12人 計 102人	前期日程 2023年 2月25日	国語	国語	数 学	数Ⅰ、数Ⅱ、数Ⅲ、数A、数B	—	共通テスト	100	200	200	200			700	
			数 学	数Ⅰ・数A、数Ⅱ・数B				個別学力 検査等			300			20	320	
			理 科	物理、化学、生物から2科目				計	100	500	200	200		20	1020	
		外国語		英語 (リーディング・リスニング)	〔4教科6科目〕											
公立大学 中期日程 2023年 3月9日		国語	国語	その他	小論文	○	共通テスト	100	300	300	200			900		
		数 学	数Ⅰ・数A、数Ⅱ・数B				個別学力 検査等					100	100			
	理 科	物理、化学、生物から2科目	計				100	300	300	200	100	1000				
外国語		英語 (リーディング・リスニング)	〔4教科6科目〕													

(注) 志望理由・高校時代の活動について、出願時にWEB入力していただき、主体性を評価します。

5 特別選抜

(1) 各種試験の概要

① 総合型選抜

<p>学部・学群名</p>	<p>【工学部】 建築・都市・環境工学群 情報・生命工学群</p>
<p>募集人員</p>	<p>【工学部】 建築・都市・環境工学群 土木・環境プログラム 3人 建築都市プログラム 3人 工学デザインプログラム 3人 情報・生命工学群 情報システムプログラム 3人 医工学プログラム 3人 生物応用プログラム 3人</p> <p>※選考の結果、合格者数が募集人員と異なる場合もある。</p>
<p>出願要件</p>	<p>次の要件をすべて満たす者。</p> <p>(1) 次のいずれかに該当する者</p> <p>① 高等学校(中等教育学校を含む。以下同じ)を2023年3月卒業見込みの者</p> <p>② 特別支援学校の高等部又は高等専門学校の3年次を2023年3月修了見込みの者</p> <p>③ 高等学校と同等と認定された在外教育施設(文部科学大臣認定等在外教育施設)の課程を2023年3月修了見込みの者</p> <p>(2) 合格した場合、本学に入学することを確約できる者</p> <p>(3) 大学入学共通テストのうち、本学が指定する教科・科目を受験する者</p> <p>(4) 文部科学省様式の調査書、本学指定の大学入学希望理由書・活動報告書の提出ができる者</p> <p>(5) 次の要件に該当する者</p> <p>[建築・都市・環境工学群(土木・環境プログラム、建築都市プログラム、工学デザインプログラム)]</p> <p>「数学Ⅰ」「数学A」「数学Ⅱ」「数学B」「数学Ⅲ」の5科目と「物理基礎・物理」「化学基礎・化学」の2つの科目群を修得または修得見込みの者</p> <p>[情報・生命工学群(情報システムプログラム、医工学プログラム、生物応用プログラム)]</p> <p>「数学Ⅰ」「数学A」「数学Ⅱ」「数学B」「数学Ⅲ」の5科目と「物理基礎・物理」「化学基礎・化学」「生物基礎・生物」の3つの科目群のうち、いずれか2つの科目群を修得または修得見込みの者</p> <p>※(5)の修得科目名が異なる場合、調査書の備考欄に同等科目名を記載すること。 ※本学が実施する学校推薦型選抜と併願することができない。</p>

選 抜 方 法 等	<p>大学入学希望理由書・活動報告書・調査書・基礎学力検査及び面接</p> <p><基礎学力検査の教科・科目> [建築・都市・環境工学群（土木・環境プログラム、建築都市プログラム、工学デザインプログラム）] ・数学：「数学Ⅰ」「数学A」「数学Ⅱ」「数学B」 ・理科：「物理基礎」「化学基礎」</p> <p>[情報・生命工学群（情報システムプログラム、医工学プログラム、生物応用プログラム）] ・数学：「数学Ⅰ」「数学A」「数学Ⅱ」「数学B」 ・理科：「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」から2科目</p> <p><面接の方法〔全プログラム共通〕> 各プログラムの学問分野への適性、意欲を測るために、提示したテーマに対して、その場で考え、表現する能力を確かめる。各プログラムのテーマの詳細については、入試要項を参照すること。</p>
出 願 期 間	2022年9月15日（木）～ 9月21日（水）〔必着〕（インターネット出願）
試 験 日	2022年10月9日（日）
合 格 発 表 日	2022年11月1日（火）
そ の 他	<p>○ 大学入学共通テストのうち、本学が指定する教科・科目の受験を課す。 教科・科目については、一般選抜（前期日程）に同じ。 指定した科目を受験しなかった場合及び科目の得点の中に0点がある場合は、合格発表後であっても合格を取り消す場合がある。前記以外の大学入学共通テストの結果は、合否の判定に影響はしない。</p> <p>○ 英語外部検定試験の成績を評価する。 以下の英語外部検定試験の成績表（スコアや級の分かるもの）の写しを提出すること。 ・ GTEC（（4技能版（Advanced・Basic・Core・CBT）検定実施に限る）・（3技能版（オフィシャルスコアに限る）） ・ TOEFL iBT[®]またはTOEFL Junior（Standard） ・ TOEIC[®] L&R+S&WまたはTOEIC[®] L&R（それぞれ公開テスト） ・ 実用英語技能検定試験（英検（従来型）・英検2020 2 days S-Interview・英検S-Interview・英検2020 1 day S-CBT・英検S-CBT・英検CBT[®]） ・ TEAPまたはTEAP CBT ・ ケンブリッジ英語検定（C2 Proficiency・C1 Advanced・B2 First・B2 First for Schools・B1 Preliminary・B1 Preliminary for Schools・A2 Key・A2 Key for Schools） ・ IELTS アカデミック・モジュール</p>

② 学校推薦型選抜

<p>学部・学群名</p>	<p>【工学部】 建築・都市・環境工学群 情報・生命工学群</p>
<p>募集人員</p>	<p>【工学部】 建築・都市・環境工学群 土木・環境プログラム 7人 建築都市プログラム 7人 工学デザインプログラム 7人 情報・生命工学群 情報システムプログラム 7人 医工学プログラム 7人 生物応用プログラム 7人 ※選考の結果、合格者数が募集人員と異なる場合もある。</p>
<p>出願資格</p>	<p>次の要件をすべて満たし、出身校の学校長が推薦する者で、かつ、本学が実施する総合型選抜に出願していない者。</p> <p>(1) 次の①から③いずれかに該当する者</p> <p>① 高等学校(中等教育学校を含む。以下同じ)を2023年3月卒業見込みの者</p> <p>② 特別支援学校の高等部又は高等専門学校の3年次を2023年3月修了見込みの者</p> <p>③ 高等学校と同等と認定された在外教育施設(文部科学大臣認定等在外教育施設)の課程を2023年3月修了見込みの者</p> <p>(2) 合格した場合、本学に入学することを確約できる者</p> <p>(3) 大学入学共通テストのうち、本学が指定する教科・科目を受験する者</p> <p>(4) 文部科学省様式の調査書、本学指定の大学入学希望理由書・活動報告書及び推薦書の提出ができる者</p> <p>(5) 次の要件に該当する者</p> <p>[建築・都市・環境工学群(土木・環境プログラム、建築都市プログラム、工学デザインプログラム)]</p> <p>「数学Ⅰ」「数学A」「数学Ⅱ」「数学B」「数学Ⅲ」の5科目と「物理基礎・物理」「化学基礎・化学」の2つの科目群を修得または修得見込みの者</p> <p>[情報・生命工学群(情報システムプログラム、医工学プログラム、生物応用プログラム)]</p> <p>「数学Ⅰ」「数学A」「数学Ⅱ」「数学B」「数学Ⅲ」の5科目と「物理基礎・物理」「化学基礎・化学」「生物基礎・生物」の3つの科目群のうち、いずれか2つの科目群を修得または修得見込みの者</p> <p>※(5)の修得科目名が異なる場合は、調査書の備考欄に同等科目名を記載すること。</p> <p>※本学が実施する総合型選抜と併願することができない。</p>

選 抜 方 法 等	<p>大学入学希望理由書・活動報告書、推薦書、調査書、基礎学力検査及び面接</p> <p><基礎学力検査の教科・科目></p> <p>[建築・都市・環境工学群（土木・環境プログラム、建築都市プログラム、工学デザインプログラム）]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数学：「数学Ⅰ」「数学A」「数学Ⅱ」「数学B」 ・理科：「物理基礎」「化学基礎」 <p>[情報・生命工学群（情報システムプログラム、医工学プログラム、生物応用プログラム）]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数学：「数学Ⅰ」「数学A」「数学Ⅱ」「数学B」 ・理科：「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」から2科目
出 願 期 間	2022年11月 1日（火）～ 11月 7日（月）〔必着〕（インターネット出願）
試 験 日	2022年11月20日（日）
合 格 発 表 日	2022年12月 2日（金）
そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大学入学共通テストのうち、本学が指定する教科・科目の受験を課す。教科・科目については、一般選抜（前期日程）に同じ。指定した科目を受験しなかった場合及び科目の得点の中に0点がある場合は、合格発表後であっても合格を取り消す場合がある。前記以外の大学入学共通テストの結果は、可否の判定に影響はしない。 ○ 書類審査の中で、英語外部検定試験の成績を評価する。 <p>以下の英語外部検定試験の成績表（スコアや級の分かるもの）の写しを学校推薦書の中に厳封して提出すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ GTEC（（4技能版（Advanced・Basic・Core・GBT）検定実施に限る）・（3技能版（オフィシャルスコアに限る）） ・ TOEFL iBT[®]またはTOEFL Junior（Standard） ・ TOEIC[®] L&R+S&WまたはTOEIC[®] L&R（それぞれ公開テスト） ・ 実用英語技能検定試験（英検（従来型）・英検2020 2 days S-Interview・英検S-Interview・英検2020 1 day S-CBT・英検S-CBT・英検CBT[®]） ・ TEAPまたはTEAP CBT ・ ケンブリッジ英語検定（C2 Proficiency・C1 Advanced・B2 First・B2 First for Schools・B1 Preliminary・B1 Preliminary for Schools・A2 Key・A2 Key for Schools） ・ IELTS アカデミック・モジュール

③ 帰国生徒

学部・学群名	【工学部】 建築・都市・環境工学群 情報・生命工学群
募集人員	【工学部】 建築・都市・環境工学群 若干名 情報・生命工学群 若干名
出願要件	次のすべての項に該当する者 (1) 日本国籍を有し、保護者の海外勤務等やむを得ない事情により、外国に在住し、外国の学校教育を受けた者で次のいずれかに該当する者 ① 外国において、外国の教育制度に基づく教育機関において、最終学年を含め2学年以上継続して学校教育を受け、12年に相当する課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含む。）を2021年4月1日から2023年3月31日までに卒業（修了）した者及び卒業（修了）見込みの者 ② 外国の教育制度に基づく教育機関において、外国において2年以上継続して学校教育を受け、12年の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含む。）を中途退学し、引き続き日本の高等学校の第3学年もしくは中等教育学校の第6学年に編入学を認められた者で、2023年3月卒業見込みの者 ③ 外国において、外国の大学入学資格（国際バカロレア資格、アビトゥア資格、フランス共和国のバカロレア資格、GCE Aレベル資格取得者はAレベル3科目以上又はAレベル2科目とASレベル2科目の合計4科目）を有する者で、2021年4月1日以降に授与された者 ※①及び②において、外国に設置された教育機関であっても、日本の学校教育法に準拠した教育を施している学校に在学した者については、その期間は外国において学校教育を受けた者とはみなされない。 (2) TOEFL iBT®、TOEIC® L&R の公開テストのうちいずれか1つを2021年4月以降に受験している者
選抜方法等	(1) 書類審査（大学入学希望理由書・活動報告書を含む） (2) 個別学力検査（一般選抜【前期日程】と同一問題） 数学：「数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B」 (3) 面接
出願期間	2023年1月23日（月）～1月27日（金）〔必着〕（紙出願）
試験日	2023年2月25日（土）
合格発表日	2023年3月5日（日）
その他	○ 大学入学共通テストは課さない。 ○ 卒業証明書及び成績証明書等の原本が日本語又は英語以外で作成されている方は、事前に確認のため、「志願者調書（コピー）」及び「卒業証明書及び成績証明書等（日本語又は英語訳文原本を添付・コピー不可）」を事前に出願先まで連絡した上、2022年11月28日（月）から12月5日（月）までに提出すること。

④ 私費外国人留学生

学部・学群名	【工学部】 建築・都市・環境工学群 情報・生命工学群
募集人員	【工学部】 建築・都市・環境工学群 若干名 情報・生命工学群 若干名
出願要件	<p>次のすべての項に該当する者</p> <p>(1) 日本国籍を有しない者</p> <p>(2) 出入国管理及び難民認定法において、大学入学に支障のない在留資格を有する者で、次のいずれかに該当する者</p> <p>① 外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び2023年3月31日までに修了見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣が指定した者</p> <p>② 外国の大学入学資格（国際バカロレア資格、アビトゥア資格、フランス共和国のバカロレア資格、GCE Aレベル資格取得者はAレベル3科目以上又はAレベル2科目とASレベル2科目の合計4科目）を有する者</p> <p>(3) 独立行政法人日本学生支援機構が行う2022年度実施の日本留学試験のうち、本学の指定する教科・科目を受験した者</p> <p>日本留学試験の利用教科・科目（なお、出題言語は日本語とする。）</p> <p>[建築・都市・環境工学群] 日本語（読解、聴解・聴読解、記述を含む）、数学（コース2） 理科（物理及び化学の2科目）</p> <p>[情報・生命工学群] 日本語（読解、聴解・聴読解、記述を含む）、数学（コース2） 理科（物理及び化学の2科目）</p> <p>(4) TOEFL iBT®、TOEIC® L&Rの公開テストのうちいずれか1つを2021年4月以降に受験している者</p>
選抜方法等	<p>(1) 書類審査（大学入学希望理由書・活動報告書を含む）</p> <p>(2) 個別学力検査（一般選抜【前期日程】と同一問題） 数学：「数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B」</p> <p>(3) 面接</p>
出願期間	2023年 1月23日（月）～ 1月27日（金）〔必着〕（紙出願）
試験日	2023年 2月25日（土）
合格発表日	2023年 3月 5日（日）
その他	<p>○ 大学入学共通テストは課さない。</p> <p>○ 卒業証明書及び成績証明書等の原本が日本語又は英語以外で作成されている方は、事前に確認のため、「志願者調書（コピー）」及び「卒業証明書及び成績証明書等（日本語又は英語訳文原本を添付・コピー不可）」を事前に出願先まで連絡した上、2022年11月28日（月）から12月5日（月）までに提出すること。</p>

(2) 出願方法

- インターネット出願
 - ・特別選抜【学校推薦型選抜】
 - ・特別選抜【総合型選抜】

- 紙の志願票等による出願
 - ・特別選抜【帰国生徒】
 - ・特別選抜【私費外国人留学生】

いずれの場合も必ず出願書類を簡易書留・速達扱いで郵送してください。

6 障害等のある入学志願者の出願について

本学に入学を志願する者で、障害等のある方は、受験上及び修学上特別な配慮を必要とする場合は、出願に先立ち前橋工科大学学務課入試係に連絡し、相談して下さい。（相談期日・方法については、後日発表する各試験の学生募集要項を参照してください。）

障害等のある方でインターネット出願の利用が難しい方は、入試係へ相談してください。

7 試験会場について

(1) 一般選抜【前期日程】試験

- ① 前橋会場（前橋工科大学：群馬県前橋市上佐鳥町460番地1、027-265-0111）
- ② 東京会場*
- ③ 名古屋会場*

※後日発表する学生募集要項（一般選抜）を参照してください。

(2) 上記以外の試験

前橋工科大学

8 学生募集要項等の公表時期について

2023年度の学生募集要項等の公表時期は、次のとおりです。

なお、募集要項は全て大学ホームページでのみ公表し、紙媒体での配布を行いません。

募集要項等の種別	公表時期
大学案内	7月上旬
一般選抜	10月下旬
特別選抜【総合型選抜】	7月下旬
特別選抜【学校推薦型選抜】	8月下旬
特別選抜【帰国生徒】	10月下旬
特別選抜【私費外国人留学生】	7月下旬

9 前橋工科大学の情報をより詳しく調べたい方へ

○ 前橋工科大学のホームページで調べる

前橋工科大学ホームページのメニューの「受験生の方へ」から最新の入試情報、学群、学生生活に関する詳細な情報を入手することができます。また、「大学案内 デジタルパンフレット」のメニューからは、大学案内や動画をインターネットで閲覧することができます。

「受験生の方へ」	「大学案内 デジタルパンフレット」

○ 前橋工科大学入試広報 LINE 公式アカウントで友だち登録し、入試情報を受け取る。

LINE 公式アカウントを友だち登録していただいた方に、入試関連イベントのお知らせや、入試情報など高校生・受験生の皆さんに役立つ情報をお届けします。LINE の「友だち追加」から「ID 検索」または「QR コード」で登録してください。



@maebashi_it_ad

「大学案内」のみ本学のホームページから①テレメール、②モバっちょ、③LINE による資料請求ができます。

○ 大学のホームページから請求する場合

前橋工科大学ホームページ（トップページ ≫ 入試情報 ≫ 資料請求先）をご覧ください。

URL: <https://www.maebashi-it.ac.jp/exam/siryouseikyuu.html>

○ 「テレメール」で請求する場合

インターネット（パソコン・スマホ・ケータイ）または自動音声応答電話で請求する場合

① 下のいずれかの方法でテレメールにアクセスしてください。

インターネット (パソコン・スマホ・ケータイ)	https://telemail.jp	バーコードからアクセスした場合は 資料請求番号の入力は不要。
自動音声応答電話	IP 電話 050-8601-0101 (24 時間受付)	
	<small>※ 一般電話回線からの通話料金は日本全国どこからでも3分毎に約12円です。 ※ 住所氏名等の登録時はゆっくり・はっきりとお話してください。登録された音声の不鮮明な場合は資料をお届けできないことがあります。</small>	

② 請求を希望する資料請求番号（6桁）を入力してください。

資料名	資料請求番号	料金（送料含）	発送開始日
大学案内	193108	180 円	6 月 30 日

※ 料金のお支払いは資料到着後の後払いです。お届けする資料に同封の料金支払い用紙をご確認の上、資料到着後 2 週間以内に表示料金をお支払いください。なお、支払い手数料が別途必要です。「コンビニ支払い」「LINE Pay 請求書支払い」「PayPay 請求書支払い」「au PAY 請求書支払い」は 88 円、ゆうちょ銀行・郵便局の ATM 扱いは 80 円、窓口扱いは 130 円。「クレジットカード払い」「ケータイ払い」は 50 円が別途必要です。ゆうちょ銀行・郵便局での通常払込みもご利用になれます（別途手数料が必要）。また、複数資料の料金をまとめて支払うこともできます。

※ 発行部数に限りがあり、早期終了する場合がありますので、お早めにご請求ください。

③ ガイダンスに従ってお届け先を登録してください。テレメールのパスワードをお持ちの方は登録不要です。

※ 資料請求終了時および受付確認メール内で告知される 10 桁の「受付番号」は、資料到着まで保管しておいてください。

④ 請求してから数日後に資料が届きます。

※ 発送開始日以前に請求された資料は予約受付となり、発送開始日に一斉に発送します。

※ 請求から 3～5 日後に資料が届きます。ただし、受付時間や地域、配達事情によっては 1 週間程度かかる場合もあります。10 日以上経っても届かない場合はテレメールカスタマーセンターまでお問い合わせください。なお、発送開始日以前の請求分は発送開始日に一斉に発送されます。

資料請求における資料のお届け・個人情報に関するお問い合わせ・お申し込み先は
テレメールカスタマーセンター IP 電話 050-8601-0102 (受付時間 9:30~18:00) まで
※テレメールカスタマーセンターは、株式会社フロムページが管理運営しています。

○ 「モバっちょ」で請求する場合

(1) 携帯電話、スマートフォンを利用する場合

(2) パソコンの場合



URL : <https://djc-mb.jp/maebashi-it3/>

資料名	送料	発送開始日
大学案内	250 円	7 月上旬発送

※料金は変更となる場合がございます。

【料金の支払い方法】

① 請求時払い

携帯払い、スマホ払い、クレジットカード払いができます。(支払手数料は別途 50 円必要です。)

※ 携帯電話・スマホの機種、携帯電話会社との契約状況によって、通話料金と一緒にお支払いできない場合がございます。その場合、コンビニ後払いを選択してください。

② コンビニ後払い

資料到着後、コンビニでお支払いください。(支払手数料は別途 126 円必要です。)

■上記請求方法についてのお問合せ先
大学情報センター株式会社 モバっちょカスタマーセンター
TEL 050-3540-5005 (平日 10:00~18:00)

○ 「LINE」で請求する場合（スマートフォンのみ利用可能）

LINE アプリをインストールしているスマートフォンで、以下の QR コードからアクセスしてご利用ください。

資料名	送料	発送開始日
大学案内	180 円	7 月中旬発送



【料金の支払い方法】

① コンビニエンスストアでのお支払い

資料到着後、コンビニエンスストアでお支払いください。（支払手数料は別途 143 円必要です。）

② スマートフォンアプリでのお支払い

スマートフォンアプリで請求書払いがご利用できます。（支払手数料は別途 143 円必要です。）
コンビニ専用払込票に印字されているバーコードをアプリで読み取ってお支払いください。

利用可能なスマートフォンアプリ：PayPay、LINE Pay、au Pay、PayB、ゆうちょ Pay

③ 郵便局・ゆうちょ銀行でのお支払い

郵便局、ゆうちょ銀行に備え付けの払込取扱票に必要事項を記入して、ATM または窓口でお支払いください。（口座番号等の情報は、資料請求受付ページにてご確認ください）

■上記請求方法についてのお問合せ先
株式会社ディスコ 進学サポートデスク
<https://edu.career-tasu.jp/sp/contents/utility/deliver/index.html>